

重要取組シート 健康福祉局 健康部 健康推進課

取組項目	特定健診・がん検診の受診率向上
現状・課題	<p>特定健診は平成20年「高齢者の医療の確保に関する法律」により保険者に実施が義務付けられている。堺市の国民健康保険加入者の受診率は令和2年度は27.5%であり、大阪府平均と同水準であった。特に生活習慣の改善が効果的な就労世代(40歳から64歳)の市民の受診率が低いことが課題である。</p> <p>また、特定健診の未受診の理由としては、平成29年に実施した『堺市民の健康づくりに関するアンケート調査』の結果より、「必要な時は受診する(38.2%)」「時間がない(25.2%)」「費用が掛かる(15.2%)」となっている。</p> <p>ハガキ勧奨などを継続してきたが啓発方法が形骸化していたため、令和3年度からAIを用いた個別特性に合った受診勧奨の実施を開始し令和4年度も継続していく。</p> <p>がん検診は健康増進法に基づき実施しており、平成28年度以降、市、保健センター、がん診療拠点病院、医療機関、学校、患者会などと連携し啓発を行ってきた。胃がんリスク検査の導入や胃・肺がん検診を地域の身近な医療機関で受診できる体制整備を行った。</p> <p>29年度には、前立腺がん検査(PSA検査)の開始に加えて、受診勧奨・相談・集団検診の予約を一元的に行えるがん検診総合相談センターを設置し環境整備を行った。</p> <p>さらに、30年度からの2年間で「受診促進強化期間」と位置づけ、胃、肺、大腸、子宮及び乳がんの検診に係る自己負担金無償化を実施した。</p> <p>令和2年度から2年間は、この5つのがん検診の自己負担金無償化の延長と胃がんリスク検査・前立腺がん検査についても自己負担金を無償化とした。</p> <p>無償化の期間、がん検診受診者数が増加したが、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等で前年度を2割下回ったため、無償化期間を令和4年度末まで1年間延長する。この期間に啓発を強化し、受診率を更に向上させる必要がある。</p>
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診の受診促進 <ul style="list-style-type: none"> ・過去の受診履歴をAIを活用して分析し、個人の行動特性に応じた個別勧奨通知等を実施する。 ○胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診、胃がんリスク検査・前立腺がん検査の受診促進 <ul style="list-style-type: none"> ・自己負担金の無償化と合わせて、検診の重要性を啓発することで、今後の定期的な受診につなげる。また、次年度に向けて、自己負担金無償化の見直しを検討する。 ・がん検診対象者へのSMS勧奨通知を実施する。 ○特定健診・がん検診の周知啓発手法の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診と特定健診を合わせて周知していく ・「がん検診総合相談ポータルサイト」に検診実施医療機関マップを掲載する等更新し、受診者に利用しやすいよう情報発信する。 ・協定企業と連携した啓発を実施する。

スケジュール	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> 広報さかいによる自己負担金無償化の周知 (4月) <input type="checkbox"/> ポータルサイト更新や健(検)診啓発に関する医師会への協力依頼、調整(4月～) <input type="checkbox"/> がん検診のハガキによる受診勧奨(6月)	
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> がん検診・特定健診に関する次年度に向けた勧奨計画の策定(8月) <input type="checkbox"/> AIによる対象特性に合わせたハガキによる特定健診受診勧奨(9月) <input type="checkbox"/> SMSによるがん検診受診勧奨(10月) <input type="checkbox"/> 企業と連携したがん検診・特定健診啓発の実施(10月～) <input type="checkbox"/> がん検診・特定健診啓発強化月間の実施(10月)	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> AIによる対象特性に合わせたハガキによる特定健診受診勧奨(1月) <input type="checkbox"/> ポータルサイトの更新(1月)	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> がん検診無償化期間中に獲得した新規受診者に対して、継続受診を促す勧奨を計画的に実施する。 <input type="checkbox"/> これまでのがん検診や特定健診未受診者に対する受診を促す方法について検討実施する。	
進捗の状況	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> 広報さかいによる自己負担金無償化の周知(4月) <input type="checkbox"/> ポータルサイト更新や健(検)診啓発に関する医師会への協力依頼、調整(5月～)	
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> がん検診のハガキによる受診勧奨(8月) <input type="checkbox"/> がん検診・特定健診に関する次年度に向けた勧奨計画の策定(8月) <input type="checkbox"/> 企業と連携したがん検診・特定健診啓発の実施(8月～) <input type="checkbox"/> AIによる対象特性に合わせたハガキによる特定健診受診勧奨(9月) <input type="checkbox"/> がん検診・特定健診啓発強化月間の実施(10月) <input type="checkbox"/> SMSによるがん検診受診勧奨(11月)	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> SMSによるがん検診受診勧奨(1月) <input type="checkbox"/> AIによる対象特性に合わせたハガキによる特定健診受診勧奨(1月) <input type="checkbox"/> ポータルサイトの更新(1月)	
2025 堺市基本計画	該当する 施策	2.人生100年時代の健康・福祉～Well-being～ 健康で長生きできる都市の実現	
	寄与する KPI	特定健診受診率	目標値(2025年度) 50%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 3	すべての人に健康と福祉を
	寄与する KPI	特定健診受診率	目標値(2025年度) 50%